

コロナ禍困っている家庭支援

紙芝居や子ども食堂などの活動を行う永平寺町のNPO法人「かさじぞう」(吉川美香理事長)は二十六日、新型コロナウイルスの影響で生活に困っている家庭に食材や日用品を届ける事業を本格的に始めた。町社協と協働し、障害者や高齢者、ひとり親の家庭を支援する。

県共同募金会が行うコロナ禍での福祉活動応援キャンペーンの助成を受け、初めて配食事業に取り組み。今月は町内を中心に福井、坂井両市を含めた七十人の家庭に、町社協と分担して

高齢者らに 食品、日用品

永平寺町のNPO
「かさじぞう」



「かさじぞう」のメンバーから食品や日用品を受け取る林さん(手前左)ら。永平寺町松岡松ヶ原で

届けていく。

この日は松岡春日二の事務所で、吉川理事長らメンバーが菓子やそつめんなどの食品、ティッシュなどの日用品を段ボールに詰め、宅配分は業者に託した。配

達も行き、松岡松ヶ原の林澄子さん(左)方へは吉川理事長らが訪れた。食品や日用品を受け取った林さんは「うれしかったし、とても助かったと喜んだ。吉川理事長は、少しずつでも訪問し、特にひとり親家庭は夏休み前に子どもだけになるので活動していきたい」と話した。事業は当面六月まで、七月以降も同募金会の助成を受けられれば継続していき考え。(平林靖博)